



2019 年度活動テーマ(案)「JOSO 食材でかんたん・おうちごはん」

常総生活協同組合 理事会

2019 年度総代会前 「おしゃべり会」(懇談会) 開催のお知らせ!!



春風が心地よいこの頃、組合員の皆様には日頃の生協活動、地域の催し、商品利用へのご協力ありがとうございます。

早いもので、2018 年度も終わり、2019 年度に入ります。みんなで、この一年できる様になったことを振り返ったり、今度はこんなことをやってみようかと、考えたり、話し合っていく「おしゃべり会」を開きます。

2019 年度の活動テーマ(案)は「JOSO 食材でかんたん・おうちごはん」です。組合員皆さんの生活の知恵や、くらしの工夫の交流を深めていける年にしていきたいと思います。皆さんの「おしゃべり」の中から新たな発見、取り組みにつながるような会になればと思います。ふるってご参加下さい。

こちらの QR コードを読み取ると WEB フォームからも申し込めます。※ホームページ「情報発信」ページにも掲載されています。→



開催日程 ※ご都合の良い日程に参加できます

日時	4/17 (水)、4/20 (土) 10:00 ~ 12:00
場所	常総生活協同組合 2F 組合員活動室
申込み方法	生協本部 (0297-48-4911) にお電話いただくか、もしくは注文用紙組合員意見欄、WEB フォーム (https://goo.gl/forms/DFfr5Sa9am7jtWUA2) にご記入下さい。 第一次メ切 4/12 (金)

2019 年 4 月の予定

●生協基幹運営/地域活動・催し●	●提携・協同・連帯企画●
4 月ゴンタの丘「常総っ子応援団」は毎週木曜日に活動しています。試食会は 4 月 25 日に行います。	
4/2 (火) 私たちのくらしと憲法	4/5 (金) 生協ネットワーク 21 役員会
4/3 (水) 檻の中のライオン講演会	4/12 (金) 生協ネットワーク 21 専務交流会
4/8 (月) 脱原発とくらし見直し委員会	4/14 (日) 関東子ども健康調査基金 医師懇談会
4/13 (土) 福島スタディツアー	4/19 (金) GMO フリーゾーン全国集会反省会
4/17 (水)、20 (土) 総代会前総代・組合員懇談会	4/21 (日) 甲状腺エコー検診 in 流山
4/24 (水) 定例理事会	
4/25 (木) 東海第二原発訴訟 第 25 回口頭弁論	

新年度！見つけよう！！「わが家の定番品」 常総生協の商品の考えをお伝えします。 ～水産編～

常総生協で扱う水産品は、養殖よりも天然もの、遠洋ものよりは近海の新鮮なものを中心にお届けします。酸化防止剤、アミノ酸等の添加物の使用もありません。旬の時に水揚げされた日本各地の地魚もご紹介します。

□産地・水揚げ港・加工場が明確です

常総生協で取り扱う水産品は原産地（漁獲海域）、水揚げ港、加工場が明確です。カタログでは原産地を表記（「千葉県」は千葉沖、「岩手県、または三陸」は三陸沖で漁獲です。「アラスカ」はアラスカでの漁獲になります）しています。外国産加工の場合は、説明文等で表記してゆきます。

□旬の鮮魚をご提案

野菜と同じように、天然の魚にも「旬」や「産地」があります。旬の素材は味だけでなく栄養の面でも優れています。常総生協では各地の浜とつながることで、季節の旬の地魚をお届けしています。

□産地1回凍結品

（ワンプローズン＝[鮮魚水揚げ→当日中に加工→凍結]）

市販品の魚のほとんどは、大量に漁獲・凍結したものを一度解凍して、切り身や干物などに加工した後、もう一度凍結したものが中心です。凍結・解凍・再凍結・再解凍を繰り返すうちに、ドリップと一緒に旨みも出てしまい、パサパサになっ

てしまいます。常総生協の魚はご家庭での調理をする際、鮮魚に近い味が楽しめます。

□酸化防止剤、アミノ酸等の使用もありません

市販品の多くは、量販店での販売が前提にあります。棚に長く置けるものが良い商品といわれ、その為に賞味期限を長くする添加物（酒精、酸化防止剤、pH調整剤など）が使われます。また、手ごろな価格にするために調味料も安価な化学的に作られた甘味料や調味料（アミノ酸等）を使い、不足する旨味を補っています。

さらに大量生産するため、漬魚と売られているものの中には、実際は甘く味付けした切身にみそだれを塗っているだけというものもあるようです。

4月2回掲載。春の水産おすすめ商品！！



あさり潮汁

塩屋（茨城県・ひたちなか市）

98 あさり

熊本、愛知、三重、千葉の4産地から季節に合わせてお届け。大粒で、身の入り、旨味共に良いあさりです。

冷蔵賞お届け日含め2日 220g **305**円(税込**329**円)
あさり（熊本県、愛知県、三重県、千葉県）【放】不検出<4.0<3.6

生協職員に聞きました!! 2011年3.11あの時の状況と、感じたこと。part2

● 8年前は前職で夜勤の仕事をしていました。

仕事に向け寝ようとしていた時に地震が起きました。最初は何が起きたんだとパニックになったことを覚えています。外に避難し、近所の人と情報交換しました。約1日停電になっていたの、テレビも見れず情報を得るのに苦労しました。オール電化なのでお風呂、お湯を沸かすことも出来なかった。当時は地震に対する意識が低く、お水、常備食も準備していなく、近くのコンビニ、スーパーに買い物に行きました。しかしお店には品物がなく探し回ったことを覚えています。3.11を経験したことで、日々災害に対する意識を持つことが大切だと強く感じました。メディアでは3.11の時にしか報道されないの、もう少し今の現状をより多くの人に伝えていくべきだと思います。

(供給部 滝本)

● 3.11の際は他生協で配達をしていました。

後4~6件ぐらいで配達も終わりそうな時に地震が起こり足で立っていることが出来ないくらいの揺れでトラックもすごい勢いで揺れていたことが今でも鮮明に覚えています。

壁の扉や、かわらが無残にも崩れている現状に恐ろしさを感じました。正直、配達よりも家族の心配になり電話かけましたが繋がらず、メールだけ送り残りの配達を続けました。家族は無事は確認取れ、職場の同僚も怪我なく無事に帰ってきました。

人間は自然の力には適わないけどしっかりと対策を取れば被害の軽減は出来る事を知りました。

(組織部 古橋)

●地震の瞬間は生協本部で迎えました。

まだ建て替え前の古い建物でしたので、揺れている間は、これは建物が倒壊するかなと感じました。私の席の上の梁が落ちたので、もし座っていたら怪我をしていたかも知れませんでした。幸いにも設備機器に大きな損傷が無く、また停電も無かったので、余震が収まってきたら、片付けをし

ながら業務も再開しました。その翌日に福島第一原発爆発の報。そこからはみんな休日返上で対応に当たり続ける日が続きました。地場生産者の絶望感、家族の健康を心配する組合員の声を受け止めながら、無我夢中の日々でした。そんな中で宮城、福島への被災地支援にも行かせてもらい、想像を絶する被害の大きさを目の当たりにしました。日本に住んでいる以上、地震を経験するのはこれは避けようが無いことです。原発事故は余計です。

電源喪失による事故の可能性は3.11の前から指摘されていたにも関わらず、無策にもメルトダウンの事態となりました。日本で原発を安全に稼働できる立地は無いと思います。また仮にあったとしても核のゴミを将来に付け回すだけの事で「今さえ良ければ」というのは許されないと思います。また被害を小さく見せようとする国の姿勢も許せません。放射能の被害だけでなく、人と人との分断も生んでしまう原発はもう止めにしたいと思います。

(供給部 丸山)

●当然あの日あの時はつくばで供給中でした。

少し揺れを感じたので組合員さんの家の所でトラックを止めて運転席で地震が収まるのを待ちました。しかし揺れは一向に収まらない。それどころか激しく揺れ始めた。必死にハンドルを握って身体を支えたのを覚えています。隣のマンションが、ガーン、ガーンと轟音を立てていて倒壊するんじゃないかと戦々恐々でした。あまりの激しい揺れに荷台がどうなっているか気になって開けてみると、なんと被害ゼロの無傷だった。この時ばかりは(さすが俺!)と思ったものです。その後も供給を続けましたがエレベーターが止まったり、大渋滞だったりで大変でした。家に帰ると色々と散乱しているようだったが停電していたので、取り敢えず寝ました。私は登山をしていてコックヘルやフリーズドライ食品を所持していたので災害時はとっっても役に立つ事を感じました。災害時の備えは心の余裕の為にも必要ですね。

(供給部 阿部)

理事会よもやま通信

発行 常総生活協同組合理事会
TEL0297-48-4911
FAX0297-45-6675

常総生協はみんなの「ほしい！食べたい！知りたい！」を応援します

一年間を振り返りましょう。



みなさん、先日お配りした組合員討議資料はご覧いただけましたでしょうか。

来年度の活動テーマは、「ズバリ JOSO 食材でかんたん・おうちごはん」です。これを聞いて皆様どんなイメージを持ちましたか。

このテーマに決まるまで理事会では熱い議論が交わされました。常総生協という味噌づくりに代表されるように「手作り」重視のイメージが強い方が多いのではないのでしょうか。理事会もそれは同じでした。しかし、それによって負担を感じる組合員がいるのも現実です。実際、先だってコース別に行ったアンケートでも、手作りは大事だけれど、手軽さも大切、というご意見も少なくありませんでした。時代に合わせて「手作り」のイメージを変えてみることも必要なのではないか、いや、それでは、今まで常総生協を守ってきたくださった諸先輩方の意思に背いてしまうのではないかと、など様々な意見交換が行われました。

そんな中で常総生協の食材について改めて考えました。こだわって作られた素材だからこそ手を加えずとも、例えばトマトを切っただけでも、肉を焼いただけでも十分おいしい一品ができる、加工食品については、市販品とは比べ物にならないくらい添加物が少なく、素材そのものが吟味されて作られていて、おうちで一から作ったのと同じような安心が容易に得られる、そんな様々な食材へのこだわりがやはり常総生協の強みで、その安心こそがおいしさの証である。百パーセント手作りにこだわることがすべてではないのではないかとという結論に達しました。

ここは一つ、初の試みで、手作りの幅を広げようという思いから、来年度のテーマが決まりました。

討議資料アンケートに手作り割合、外食状況調査の項目があるのは、そんな思いが込められています。他にも、ふりかえりくらしの点検表も昨年と比較すると表現がやさしくなったのですが、お気づきになりましたか。恥ずかしながら、私は理事になる前、こういう資料は毎年同じものが使いまわしされていると思っていました。実際は案外時間を割いて議論されています。ところでこの討議資料アンケートの提出率をご存知ですか。なんと毎年十五〜三十パーセントだそうです。理事一年目の私はその低さに驚くとともに、過去提出し忘れたことを申し訳なく思いました。記入項目が細かいので、大変かもしれません。しかし、前号でお伝えしたように生協は組合員一人ひとりのものです。自分の出した出資金で、よりステキな生協にしていくため、皆さんの想いをこのアンケートで伝えることができます。また、忙しさに流れてしまう日々の中で、自らの生活を顧みる機会はそのうそありません。点検表を記入しつつ一年間を振り返り、来年度の更なる発展への準備をしてみたいかがでしょうか。これをきっかけに、皆様のおうちごはんの食卓がにぎやかになったら理事一同この上ない喜びです。また、4月には組合員懇談会を開催します。常総生協をさらに盛り上げていけるよう一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。(中安)

千葉のゆるカフェが盛り上がったらしい件！

我孫子駅前で行った「えきまゆるカフェ」は今回も盛会で、総勢 23 名が集まりました。テーマは「米粉」。まだ商品化されていないのに、組合員さんからの問い合わせが相次いでいる今話題の食材です。

メニューは、出汁で頂く「米粉たこ焼き」、「もち米粉のすいとん入り豚汁」、残った食材で作る「アラカルト☆」。食材は米粉の他に三里塚の野菜セットと岩瀬牧場の豚肉など常総生協の人気食材がメイン！

参加者全員で作った全 6 品+柏田中のトマトの試食はどれもおいしくて、楽しいランチ会になりました♪この日のために千葉の総代さんが事前に集まり、テーマやメニュー、当日の流れを決めての開催。千葉のゆるカフェは総代さんの力で成り立っています！ **4月1回のあとは月一回で供給予定です。お見逃しなく！**



『理事会よもやま通信』へのご意見・ご感想は、OCR用紙の「意見・要望・連絡欄」、ネット注文の方は「ご意見のページ」に